

2013:Philips 超電導1.5TMRI装置Multiva発売



- 頭頸部、体幹部、脊椎領域で撮像したい部位のRFコイルエレメントを自動的に選択できるSmartSelectを搭載
- 撮像時間の倍速を最大16倍まで対応し、撮像時間の短縮を実現。頭部、体幹部、四肢関節のルーチン検査を10分間で実施可能
- 軽量化したRFコイルを採用し、セッティングを容易にした。
- 最大撮像視野53cm
- 撮像時間の短縮、患者セッティングの簡便化により検査時間を40%削減